

年 組 名前：

「移動式サウナ」商品化



「ムービングサウナ」の軽トラックタイプ(左)とトレーラータイプ
 北杜市長坂町長坂上条

山梨住宅工業 アウトドア人気見込む

住宅用部材製造の山梨住宅工業(北杜市長坂町長坂上条、北原正倫社長)が、軽トラックやトレーラーに載せられる移動式サウナを開発した。近年、自然の中でサウナを楽しむ「アウトドアサウナ」の人气が高まっていると見込み、北原社長は「プライベートサウナが楽しめるアイテムとして売り込みたい」と話している。(渡辺真紗美)

同社の製材工場があるフィンランドではサウナが広く普及し、屋外に設置されたサウナに入った後、水風呂代わりに湖や川に入ってクールダウンする楽しみ方があるという。フィンランド式のサウナを日本でも楽しめようと製品化した。

同社が大手住宅メーカーに供給している木質接着パネルの製造技術を生かし、断熱材入りのサウナ専用パネルを開発。サイズは幅約133センチ、長さ182センチ、高さ約163センチ。重さはまきストーブとストーン50ポを含めて約330キログラム。外側は3ミリのアルミ複合板で、屋根はガルバリウム鋼板を使っている。

室内は1・5畳の広さがあり、定員は大人3人。座った際の目線の高さに窓が付いているので外の景色が楽しめる。軽トラックやトレーラーに積載し、フォークリフトやクレーンで降ろすこともできる。「ムービングサウナ」として、2月に都内で開かれた展示会に出展。「宿泊施設やキャンプ場、個人などから受注が相次いでいる」(同社)という。北杜市のふるさと納税の返礼品にも選ばれた。価格はサウナ本体とストーブ、煙突が付いて250万円。納期は最速で約2週間。今後は販売事業を担う子会社ララティッコのサイトでインターネット販売に対応する計画。問い合わせは山梨住宅工業、電話0551(32)3205。

(2023年6月14日付 山梨日日新聞7面)

問1 北杜市の住宅用部材製造業者は、どのような場面で使える、どのようなサウナを開発しましたか。

.....

問2 販売を始めた会社とサウナには、どのような関係がありますか。

.....

問3 次の文章の①から④に当てはまる数字を、答えてください。

『サウナ全体のサイズは、幅約①センチ、長さ②センチ、高さ約③センチで、
 体積は約④立方センチメートルです』

① ② ③ ④